

ろくのへ 議会だより



六戸町議会
ホームページ
QRコード

【新年の抱負】

新年のあいさつ 2

【議案審議】

12月定例会で決まったこと 3

【一般質問】

豪雨被害、地域活性化、教育関連など ... 4

【特集】

高校生模擬議会 12

12月16日、六戸高等学校の生徒12名による模擬議会が開催されました。高校生議員たちは地域課題を調査、考察し、高校生ならではの視点で町執行部へ提案をなげかけました。



新年のあいさつ

町民の幸せを願い、
皆さまと共に歩む議会を目指して

明けましておめでとうございませう。

日頃から、議会活動ならびに町政全般に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が開始し、いまだに終息が見えず、この侵攻によって日本はもとより世界経済に大打撃を与えており、日本国内では円安による国民生活に悪影響を及ぼしております。

新型コロナウイルス感染症も完全終息に至らず、まだまだ予断を許さない状況です。

長きにわたり国政に携わり、日本経済の立て直し、諸外国との友好関係などに

尽力された安部晋三元首相が、7月8日遊説先で凶弾に倒れ、他界されるという痛ましい事件が起きました。

8月上旬には、大雨による災害が青森県全域で発生し、六戸町でも農地・農作物、道路が被災し、町内の主要農作物に大きな影響を与えました。

一方、第104回全国高等学校野球選手権大会では、宮城県代表の仙台育英高校が東北勢念願の初優勝を果たし、大きな歓喜に包まれました。

青森県内においては11月27日に六戸町から七戸町に至る高規格幹線道路である上北自動車道が全線開通し、交通・移動の利便性が向上しました。

六戸町では、小松ヶ丘地区で進めていました公共下水道整備が完了し、10月下旬に供用開始され、地域の多くの方々に快適な生活のための役目を担うことできるよう。

このような中、町議会では、町民との意見交換会などの開催を見合わせておりますが、12月16日には、令和5年3月末で閉校となる青森県立六戸高等学校3年

生の皆さんによる模擬議会を開催し、有権者の自覚・選挙権の重要性を含めた、活発討論を行いました。今後、コロナ禍で議会運営が滞ることのないように議会基本条例の検証を進めるなど、議会の役割と責任を自覚するとともに、議員間討議による個々の資質向上を図るなど、更なる議会改革に邁進してまいります。

今後におきましても、町民の代表機関として、町執行機関とお互いに緊張感を持ち、切磋琢磨しながら、町民の幸せを願い、皆さまと共に歩む議会となれるよう、全力を尽くしていく所存でございますので、町民の皆さまには、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、改めてコロナ禍の終息を願い、六戸町の皆さまが、温かい心で新たな視点で結び付き、この難局を乗り越っていくことを強く願うとともに、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和5年1月

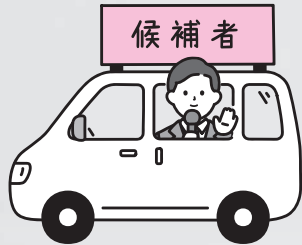
六戸町議会議長

川村 重光

川村 重光

町議会議員選挙と町長選挙 選挙運動費用の一部を 公費で負担

18



条例改正
町村長の選挙や町村議会議員選挙では、資産の多少にかかわらず立候補や選挙運動ができる環境を整えることが求められていました。公職選挙法が改正されたことに伴い、町でも条例を制定し、選挙運動費用の一部を公費で負担することになりました。

12月定例会が12月2日から6日までの会期で開かれました。条例改正や専決処分の報告、補正予算など19件の案件が町長から提出されました。審議した結果、議員全

員賛成で原案通り可決されました。一般質問には、4議員が登壇。豪雨災害についての支援対策や、地域の活性化、学校教育について町の考えを問いました。

公費負担の改正前後比較

選挙区分		公費負担の有無		
		選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター作成	選挙運動用ビラ作成
町長選挙	改正前	×	×	×
	改正後	○	○	○
町議会議員選挙	改正前	×	×	頒布不可
	改正後	○	○	○

条例改正

◆**町職員の定年を65歳まで段階的に引き上げ**

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和5年4月1日より職員の定年を60歳から65歳まで段階的に引上げ、管理監督職務上年限年齢制、定年前再任用短時間制などを設けるよう改正します。

補正予算

◆**一般会計に1億7912万円を増額**

令和4年度六戸町一般会計補正予算は、歳入歳出に1億7912万円を増額し、総額67億9120万円となりました。一般会計のほか、各特別会計も増額補正となりました。(8ページの表をご覧ください。)

ご覧ください。)主な補正内容は次のとおりです。

- ▼十和田観光電鉄交通バスICカード導入推進事業 146万円
- ▼社会福祉施設等電力・ガス・食料品価格高騰対策支援事業 1060万円
- ▼電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業(住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付) 6500万円
- ▼運送事業者に対し燃料費高騰対策運送業等継続支援事業 600万円
- ▼農林災害復旧工事 5834万円
- ▼定住対策住宅建設補助事業 1050万円

工事については、1月以降に交付決定になり、1月下旬頃に工事の発注の予定です。

また、土木災害復旧工事についても、11月に査定を受け、工事が認められているため、1月以降に交付申請、交付決定となる予定です。

工期が短いものについては年度内に発注し、工期が長くなるものについては、来年度までの工期で発注になる見込みです。

定住対策

町 種市正孝議員

◆**新築住宅への補助事業、今年度の申請件数の見込みは**

高橋まちづくり推進課長

10月20日現在で24件の申請が出ています。内訳は、小松ヶ丘地区が14件とそれ以外の地区は10件となっています。今年度は、50件の新築の住宅が建つ見込みです。

豪雨被害の対応

町 下田敏美議員

◆**災害復旧工事の今後の予定は**

町 外山建設下水道課長
農林水産施設災害復旧



ながね かずお 議員
長根 一男

12月定例会は、4人の議員から一般質問がありました。誌面の都合上、各議員の質問事項とその答弁を要約して掲載しています。

金矢・駒沢線の拡幅整備は

対応ができないか検討 — 町長



町道金矢・駒沢線、金沢踏切の位置

町長 この路線は、沢地沿いにあるため、急傾斜など地形上の問題

問 金矢工業団地から県道8号線、八戸・野辺地線へ接続する町道金矢・駒沢線の拡幅整備とそれに伴う、金沢踏切の拡幅整備を要望する考えは

や、青い森鉄道の踏切、姉沼川に架かる橋梁や、三沢市と隣接しているなどの、課題が多いと思います。今後、町民の必要性を考慮しながら、県も含め対応ができないか、調査、検討していきたいと思えます。

農業委員会 農業委員会は、日々被害状況を確認しており、収穫が半作以下の所もあると聞いています。農家全体に対しての支援策の検討を、農政課をお願いしているところでです。

問 現状をどのように把握しているのか

町長 ゴボウ畑の滞水による腐敗や、長芋畑の穴落ちなどの確認がされていますが、価格の変動もあるため、被害の全容把握が難しい状況です。今後、周辺の自治体の状況及び財政状況を踏まえ、支援策を検討していきたいと思えます。

問 8月豪雨による、農作物の被害に対しての支援対策は

町道の復旧状況は、県へ公共土木災害報告を行い、事業費60万以上などの要件を満たす5路線全ての災害復旧工事が認められています。3路線は早期に発注し、年度内に完了の予定です。残りの

問 8月豪雨の被害で、農地・農業用施設、町道の復旧状況は

農地・農業用施設については、国の農林災害復旧工事の対象と認められたところは、交付決定になり次第、工事を発注したいと思えます。また、国の農林災害復旧事業の対象とならなかった、水路と道路の農業用施設は、起債事業の小災害復旧事業として、復旧工事を順次発注しています。

問 七百・高館線の片側通行の箇所は、冬場の走行に影響があるのでは。交通事故防止の対策は



片側通行となり、道幅が狭くなっている七百・高館線

建設下水道課長 今後、事故防止の対策のために、融雪剤散布、幅員減少等の看板を設置し、事故が起こらないように努めていきたいと思えます。

2路線は、工事が長期間要するため、来年度の発注を考えています。



きゆうてん しん いち
久田 伸一 議員

義務教育学校の総事業費は

概算総事業費85億5千万円 — 町長

問 義務教育学校六戸学園の総事業費の今後の見通しは

町長 義務教育学校六戸学園の概算総事業費を85億5千万円とし、来年度の当初予算に向けて体制を整えています。また、国・県等補助金と地方債を除く部分は、学校建設基金の取崩しで賄う予定です。地方債についても、将来の財政負担をできる限り抑える、交付税措置のある起債を活用できる見通しです。

問 将来の財政負担の見通しは

町長 財政運営に関しては、財政シミュレーションを策定し、5年ごとに見直しを行いながら取り組んでいます。現在、学校建設事業を反映した今後のシミュレーションを作成しているところです。一般財源をできるだけ抑制した事業を組み立てていきたいと思っています。



令和7年度開校予定の義務教育学校六戸学園

※地域おこし協力隊で

町の活性化を

環境整備が整えば検討 — 町長

問 町の活性化のため、当町で地域おこし協力隊を募集する考えは

町長 当町としては、地域おこし協力隊制度の有効性は理解しつつも、活動目標設定や、任期終了後の移住定着へ向けての環境整備が整っていないと判断し、募集は現在行っておりません。今後、検討していきたいと思っています。

問 個人事業主が、規模拡大など、新たに事業を展開したい場合に利用できる、補助制度を創設しては

町長 現在、中小企業経営支援策はありません。当町の財政は、計画的に行っているものの、樂觀できる状況ではないため、今後、町独自の支援策の必要性和有効性を十分に検討し、制度化を考えていきたいと思っています。

※地域おこし協力隊：
都市から地方へ移住し、地域ブランドや地場産品の開発PR等の地域協力活動を行うってもらい、地域力の維持・強化を図ることを目的とした制度

小松ヶ丘地域に 駐在所は

状況に変化があれば要望する — 町長

問 平成29年度に、駐在所の設置について要望をしましたが、5年経過したが、経過と定期的要望活動の考えは

町長 小松ヶ丘地区への駐在所を新設する要望については、大きな変化がない限り、定期的な要望活動は、現在考えてはおりません。犯罪や事故が増加しているなど、状況に変化があった場合には、改めて要望していきたいと考えています。



たねいちまさ たか
種市 正孝 議員

インフル
エンザ

ワクチン接種補助を 中学生までに

ベストな対応を検討したい — 町長

問

乳幼児等インフル
エンザ予防接種助成
事業の対象者が生後6か
月から小学2年生までと
されている理由は

町長

令和2年度にお
いて、新型コロナウイルス
ウィルス感染症と季節性
インフルエンザの同時流
行に備え、日本感染症学
会の提言で強く推奨され、
今年度まで対象範囲を変
えずに実施しております。

問

物価高騰の中、子
育て支援の一環とし
てインフルエンザ予防接
種助成事業の対象者を中
学生まで拡大する考えは

町長

インフルエンザ
ワクチン接種は個
人の判断による任意接種
になっているので、どう
いうふうに対応するのが
ベストであるかを検討し
てみたいと思います。

問

当町での小・中学
校へのICT支援員
の配置状況は

教育長

教員への負担
を軽減するため、
ICT支援員を配置し教
員をサポートできれば、
より有効な端末の活用が
可能であると考えます。
しかしながら、実際にI
CT支援員になっていた
だけの方が、報酬の面を
含めてなかなか見つけら
ないのが現状です。

問

今後の配置予定は

教育長

新設する町立
義務教育学校で
は、メディア環境を整備
充実させることとしてお
り、学校内のネットワー



13歳未満は2回接種が推奨されている
インフルエンザワクチン

※ICT支援員の 配置状況は

なかなか見つけられづらなのが現状

— 教育長

問

教職員の習熟度の
差の改善や負担軽減
の為にICT支援員を
早急に配置しては

教育長

校内での研修
が進んでおり、
習熟されている方とされ
ていない方の差が、加速
的に縮まっている現状で
すが、さらに、研修を深
めていかなければならな
いと思っています。

ク保守や校務支援システ
ム、データ管理を専門業
者に委託する方向で検討
しています。その際には
ICTに係る支援、機械
及びネットワーク障害へ
の対応や、時代に沿った
ICTソフトウェアの使
用方法を含め、教員を積
極的にサポートしたいと
考えています。



ICT支援員などの外部人材を活用した
「指導体制」の強化も必要では

※ICT支援員の業務…

学校における授業や校務、
研修等の支援、機器やネッ
トワークの環境支援などで、
ICTを活用する際に、そ
れらをスムーズに行うこと
ができるようサポートする



さか 茂 議員
こう 高坂

義務教育学校建設の経緯と進捗は

統合することで少子化に対応と判断 — 町長
令和7年4月開校に向けて順調 — 教育長

問 当町の全ての小・中学校を統合し、義務教育学校へ至った経緯は

町長 六戸高校の閉校と結びつけ、将来的に想定される大幅な少子化、老朽化が進んでいる学校施設、さらにICT化やエアコン設置など、今後の望ましい学校教育の在り方について、包括的、総合的に検討し、結論に至りました。

問 新義務教育学校に期待することは

町長 当町の児童生徒は、将来的に間違いなく減少するが見込まれています。包括的総合的な発想で、県内

は稀な例となる、六戸モデルとして教育環境を整え、将来にわたり学びあう学校環境が実現できると信じております。

問 昨今の社会情勢はインフレ傾向にあり、諸物価も高騰している。学校建設資材の高騰により、建設費が増大することが懸念されるがその対応は

町長 学校建設に使用する木材を、町内にある誘致企業から調達したり、使用する備品を再利用したりするなど、調整していく方向で考えています。

問 資材が高騰して建設費に影響を及ぼす事態が発生した場合でも、当初の設計通り進める考えはあるか

町長 教育施設は、どんなことがあっても建てていく、造り上げて子どもたちに提供する。

このことは、我々の役目だというふうには思っています。

問 ここまでの義務教育学校建設への進捗状況は

教育長 今年度は義務教育学校開校準備委員会を設置し、順調に推移しています。学校名は六戸町立義務教育学校六戸学園と決定、事業費は概算総事業費85億5千万円です。また、学校図書館と町立図書館の機能を併用させ、充実した施設設備となっております。

問 どのような学校をイメージして開校に向かうのか

教育長 ふるさと六戸町に愛着と誇りを持ち、新しい時代を主体的に切り拓く人材の育成の教育理念の下、施設一体型の義務教育学校の特性を生かした学校の実現を目指します。

部活動の地域移行は

協議会を設置し検討 — 教育長

問 スポーツ庁は、令和7年度末を目途に部活動を地域へ移行するよう提言を示しました。今後、どのように取り組んでいくのか

教育長 令和4年12月中に六戸町スポーツ等の活動における地域移行検討協議会を設置

し、スポーツ活動の環境整備と活動の場を確保し、スポーツ文化活動の地域移行の検討を始めることとしています。具体的にはスポーツ少年団の在り方も含め、指導体制や指導者育成についても検討していく考えです。



部活動の地域移行で、子ども達の望む未来へ
(写真は、六小スポーツ少年団卓球部)

審議した議案の **賛** **否**

第5回定例会（開会12月2日）

議案名		採決 賛否	審査 結果	採決 日
専決処分	令和4年度六戸町一般会計補正予算(第4号)(9194万円を増額補正)		承認	
協定の 一部変更	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について (協定の一部に、男女共同参画社会の形成を推進する取り組み及びデジタル化推進体制に関する取り組み内容を追加)			
条例改正	六戸町認可地縁団体印鑑登録証明条例の一部を改正する条例(法令改正に伴い、引用する法律を地方自治法の規定されている条項に変更するため、所要の文言等の修正)	全員賛成	可決	12月6日
	六戸町議会議員及び六戸町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例(公職選挙法の一部を改正する法律の公布に伴い、六戸町議会議員選挙及び六戸町長選挙における選挙行為を拡大するための規定の整備)			
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例(法令改正に伴い、職員の定年年齢を段階的に引上げするため、関係法令の改正等に伴う規定の整備)			
	六戸町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例(法令改正に伴い、定年年齢、役職定年制、定年前再任用短時間勤務制及び翌年度に60歳となる職員への情報提供などの規定の整備)			
	職員の高齢者部分休業に関する条例(法令施行のため、職員の高齢者部分休業に関しての必要な規定の整備)			
	六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(青森県人事委員会勧告の給与改正に準じ、期末手当を引き上げ)			
	六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(青森県の人事委員会勧告の給与改正に準じ、期末手当を引き上げ)			
	六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(青森県人事委員会勧告の給与改正に準じ、期末手当、給与月額等を引き上げ)			
六戸町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例(青森県の重度心身障害者医療費助成制度の見直しに伴い、県の取扱いに準じて、所要の規定の整備)				
令和4年度 補正予算	一般会計補正予算(第5号)(1億7912万円を増額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(1212万円を増額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第3号)(3117万円を増額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)(279万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)(273万円を増額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(12万円を増額補正)			
国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(1468万円を増額補正)				
工事の契約	工事の請負契約の変更(小松ヶ丘処理区流域下水道接続20工区(処理場撤去)工事、汚泥処理工の追加のため金額変更)			

議会を傍聴しませんか？

次は3月に定例会があります。 〇 議会事務局 ☎55-4547

傍聴の際は
コロナウイルス
感染症対策に
ご協力ください



産業民生常任委員会

8月豪雨、コロナ対応 その後の進捗状況

12/20

産業民生常任委員会では、所管事務調査を行った。

内容については、

1. 8月大雨による被害箇所の復旧に関する進捗状況(農政課、建設下水道課)
2. 新型コロナウイルス感染症の状況と今後の対応(福祉課)

8月大雨の災害復旧箇所の受け付けは済み、県へも申請済みとの事だったので、決定後の手続きをスムーズに行っていただき、被害箇所の早期復旧に努めていただきたいと思います。

また、町内の農業被害では10月末現在で長芋6530万円、ごぼう2200万円と想定していたが、

それ以上に被害が想定されており、特に長芋については、場所によっては5割から6割、収穫が少ないとのことだった。そのため、町でも今後、種子助成を検討しており、年度内に町内の耕作者に対して支援をしていくことを確認することができた。対象者に支援が平等に行き渡るようにしてもらいたいと意見がだされた。

福祉課からは、コロナワクチン接種状況等の聞き取りを行った。今後も町からコロナ患者を減らすように情報発信をし、ワクチン接種についての啓発活動に努めていただきたいと思います。

総務常任委員会

所管課の説明を受ける

12/21

総務常任委員会では、所管事務調査を行った。

内容については、

1. 六戸町職員の定年等について(総務課)
2. 六戸町議会の個人情報の保護に関する条例について(総務課)
3. 令和4年4月1日から現在までの基金管理・運用状況と債権運用状況について(会計課)

町職員の定年年齢の引き上げで、経験豊かな職員の知見や技術などを若手職員に継承できるよう、今後、人材育成の強化や、新採用の組織

の若返りなど、働きやすい環境づくりについても考えていって欲しいと感じた。

また、基金管理、債券運用状況については、世界の経済状況が不安定であることから、運用の見通しが立てにくいと思うが、今後も適切な運用を心掛けていただきたいと思います。



広報委員の
ちょっとひと休み



呼吸の

大切さ

「赤ちゃんはお母さんの羊水の中にいて、心臓の拍動でへその

緒を通して血液をやり取りし、酸素と栄養をもらい二酸化炭素と老廃物を戻している。肺呼吸は出産時にスイッチオンとなり、『おぎゃーおぎゃー』の産声とともに空気をいっぱい吸い込み、自分自身の血液循環を完成する」とある科学者が書いていた。

そう、赤ちゃんの生まれて初めての呼吸は、おぎゃーと吐いてから吸うのだ。

私の経験で、登山の登り始めは、つい息を吸おう吸おうと過呼吸になる。また水泳やマラソンの呼吸法も色々試したが、思いつきり吐いてから吸う方が良い。

最近始めた座禅も呼吸が大事だ。ゆっくり奥まで吐いてを繰り返すと心が落ち着く。30分の座禅で、150〜180回の呼吸数であるから、1分間で5〜6回の呼吸数である。

まずは全てを吐いてから吸う。受験生の皆さん、試験前にどうぞ！

(杉山茂夫)

先進地から学ぶ

視察研修レポート

令和4年10月18日から21日まで、県外行政視察研修を行いました。

議会では、議員個々の資質を高め、先進地から学び、政策提言につなげることを目的とし、島根県飯南町議会、鳥取県江府町議会、鳥取県琴浦町議会の3町を視察しました。

視察した内容と研修報告を要約してご紹介します。

島根県飯南町

テーマ 「移住・定住促進の取り組みについて」

結婚祝い金・出産祝い金（第1子から第3子まで）や、子育て世帯の2歳未満の乳幼児に対して、毎月5千円分のおむつを支給。また、高校卒業まで医療費無料、保小中一貫教育など、絶え間ない子育て支援策があることに感心した。

町総合病院では医師7名体制で診療にあたっており、小児科、産婦人科もあった。定住促進の取り組みとして、定住促進賃貸住宅（25年賃貸後は土地建物の所有権を譲渡する制度）や、住宅関連の支援補助（最大410万円）を行っていた。また、町とハローワーク、町内企業が連携し、定住支援センター、人材確保支援センターを設置、定住推進員が随時、移住就職相談に応じていた。その他に、現地で最長1か



説明をする飯南町職員

月間暮らすことが出来る施設があることにも驚いた。

飯南町の年間の予算規模は一般会計で約90億。子育て世代を中心とした、定住・移住対策は多岐にわたっており、町に住んだ場合の安心感や魅力を感じられる内容だった。

また、説明する担当者からはアイデアの豊富さや、やる気がとても感じられ、職員と移住者、町民との一体感が、その事業の取り組みから感じられ感心した。

このように、町をあげて育児支援、住宅支援を行っているため、毎年約50人もの人が移住を決意しているのではな

いだろうかと考えさせられた。当町でも町と議会が一丸となって、定住促進に取り組んでいく必要を感じた。

鳥取県琴浦町

テーマ 「ブランド作物の振興、活性化研究会について」

農業・畜産・漁業が盛んで、「小さくせにぜんぶある。」を町のキャッチフレーズに、時代の流れに対応した施策や町民誰もが安心して暮らせる町づくりを進めていた。町内には、食品を作る会社や事務所がたくさんあり、地場産品とのコラボで加工商品が豊富に開発されていた。さらにB U Yコトウラ運動で、町で作られたものは、琴浦町内で消費する事（地産地消）で町を元気にしていく運動をしていた。

当町のブランド協議会は中央に目を向けて活動をしているが、地産地消を考えて地元消費のローカルな考えを持たないと良い成果に結び付かないのではないかと考えさせられた。

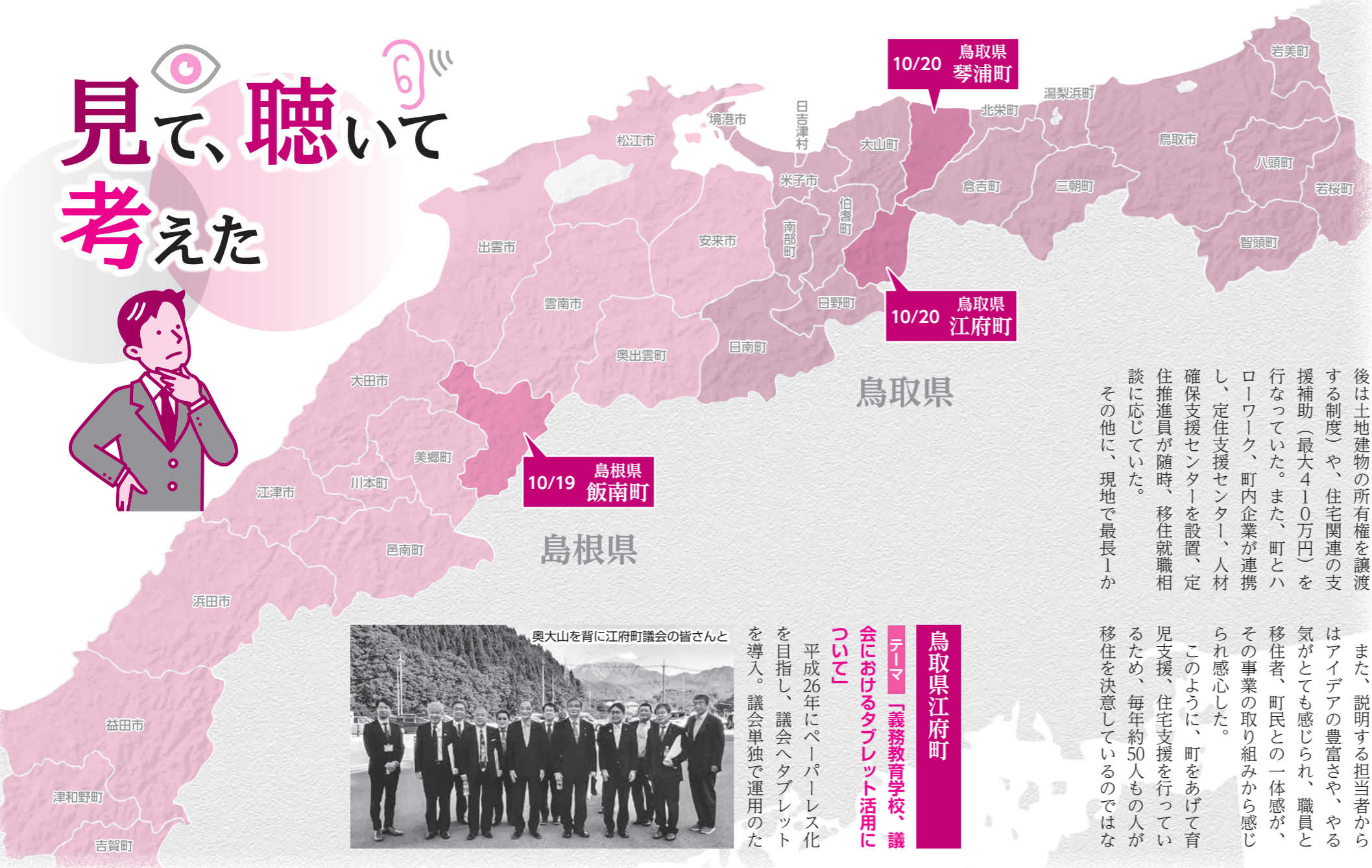
また、町では農業研修制度を取り入れており、地域おこし協力隊制度を活用し農家で



農業研修を実施し、就農を目指す希望者を関係機関でサポートをしていた。報酬を貰いながら町内の農家で2・3年間実践研修を行う。期間中は宿泊できる施設もあり、担い手を確保していた。就農準備など全般的に支援しており、当町でも新規就農者の確保のため、細やかな支援体制が必要だと考えさせられた。官民が一体となって、どのようにすれば生産性が上がるか、日々研究して取り組んでいることがひしひしと伝わってくる内容で、この差はどこから来るのか考えさせられる研修でした。

模範議会 トピックス 提案を町が納得してくれるためには、町民の意見や具体的な数字を出すことが大切だと思いました。また、町が補助をするためには、条件が多く簡単にできる事ではないことが分かりました。(中澤楓)

見て、聴いて 考えた



鳥取県江府町

テーマ 「義務教育学校、議会におけるタブレット活用に ついて」

平成26年にペーパーレス化を目指し、議会へタブレットを導入。議会単独で運用のた



奥大山を背に江府町議会の皆さんと

め、情報伝達が主な使用で、令和4年度から説明会などの一部をペーパーレス化のため試験的に始めた。タブレット導入の先輩として、議長は「習うより慣れる」と議員に言っていることが、印象に残った。当議会も令和4年9月からタブレットを導入したが、現在は情報の伝達が主である。早急に執行部と共にペーパーレス化を目指したいと感じた。義務教育学校の研修は、1年生から5年生の奥大山江府学園ブナの森校舎でタブレットの授業参観も兼ねて行った。6年生から9年生は日野川校舎に通学しており、施設分離型の義務教育学校であった。施設については既存の校舎を使用し、出来るだけお金を掛けないで造りあげた。制服は6年生からで、ブレザー型の制服（4万円程）は町で全額負担していた。当町は義務教育学校施設に80億円規模の予算を見込んでいる。規模に見合う子ども達への教育成果を願うものである。

視 察先はこんなところ【自治体データ】

- 島根県 飯南町** 広島県との県境にある町。面積242.84km²のうち約9割は森が占め、町全体が標高約450mの高原地帯にある。また、大しめ縄の町とも言われており、日本最大級の大注連縄を出雲大社に奉納。宝島社「2022年版 住みたい田舎ベストランキング『子育て世代が住みたいまち』部門全国第1位」 人口4560人(R5.1.1現在)
- 鳥取県 琴浦町** 鳥取県中部に位置し、南部は、秀峰大山から連なる山地に囲まれ、北は日本海にも面した、海と山に囲まれた町。宝島社「2022年版住みたい田舎ベストランキング 『若者世代が住みたいまち』『子育て世代が住みたいまち』部門全国第2位」 人口1万6434人(R5.1.1現在)
- 鳥取県 江府町** 鳥取県西部にそびえる秀峰大山の南側の麓に位置し、西部経済圏の中心である米子市へは25kmの距離にある。周辺は「奥大山」と呼ばれ、豊かな自然に囲まれている。キャッチコピーは「人口3000人の楽しい町」。人口2617人(R4.12.31現在)

模範議会 トピックス 今まで考えてきた質問に対して、とても前向きな回答をしてもらうことができたので、質問を考えて良かったと思いました。ありがとうございました。(三浦由聖)



私たちの声で未来を

高校生による模擬議会が、12月16日（金）六戸町役場議事堂で開催されました。

六戸高等学校3年生41名は12グループに分かれ、自分達で町の課題を掘り起こし、町執行部へ質問をしました。生徒の皆さんの高校生模擬議会に向けた取り組みや、町政へどのような質問をしたのか紹介します。



高校生模擬議会へのあゆみ

生徒の皆さんが高校生模擬議会に向けてどのように調査し、活動してきたのか紹介します。



今回の
模擬議会の
会議録

考える

各グループに分かれ、町の課題を見つけだし、その解決に向けた過程を考える。



◀ 考える

町内の子育て中の方や外国人など、多彩な講師を招き、意見を聞き、町の現状、課題を考察しました。



町で就労する外国人より意見を聞く

調べる ▶



町議員と調べた内容の精査



調べる

郊外調査で、インタビュー、アンケート、実地検証を行い、町の現状を確認する。



議会を終えて

市川 透悟 さん

模擬議会は、知識が増えるとても良い機会だった。この議会で、1つの事をするためには、未来も見据え物事を考えるということ学びました。

中村 敬汰 さん

今回の模擬議会で、話し合いの大切さを改めて感じました。町を住みやすくすることによって、移住者が増えると思うし、町を気に入ってもらえると思うので、頑張りたい。

山本 ころろ さん

私たちが質問をしても、何も変わらなければ意味がないので、少しでも検討、実行していただければと思います。六戸町を人口の多い、暮らしやすい町にしてくれることを祈っています。

工藤 琉稀 さん

私が思っていたよりとても多くの問題や対策を考えて対応していることが分かり、町への信頼が強くなりました。調べても分からなかったプレミアムシャモロック#6の凄さも知ることができ、とても驚きました。



町職員とのワークショップ



見る

六戸町定例会を傍聴し、議員と執行部との質疑応答を見て、議会の仕組みを学ぶ。



議長を経験して



佐藤 菜々実 さん

私は模擬議会で議長を務めました。人生でとても良い経験ができたと思います。今回の模擬議員の一般質問を受けて、これからの六戸町が発展することを願っています。

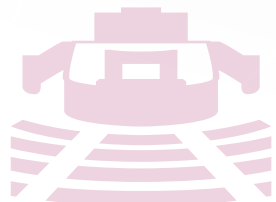
対話する

町行政の第一線で活躍する六戸町職員とのワークショップで、町の課題について解決策を探る。

グループで再検討

高校生模擬議会へ

12グループからそれぞれ議員役1名を決め、町政について質問をしました。質問内容は次のページです。





質問者
葛西 小春 議員

町の活性化に メイプルシロップを

量産体制化に期待

— まちづくり推進課長

問

六戸高校ではビオトープ活動の一環として、メイプルシロップの製造・販売を行ってきました。このメイプルシロップを使い新商品を開発し、道の駅での販売や、ふるさと納税の返礼品等、町の活性化に繋げていく考えはないか

まちづくり推進課長

町特産品を使った加工品が少ない現状

において、町内産メイプルシロップは、町を代表する次世代の特産品として積極的に押し出していきたいと考えています。

六戸高校の活動を引き続き、メイプルシロップの製造を行っているNPO

法人ろくのへ自然塾に対し、現在、当町と町観光協会と連携し、PRや販売支援等を行っています。今後、生産体制が整った際には、さらにPRしていきたいと考えています。



今後モビオトープ活動へ支援をしてもらい、みんなで作ったメイプルシロップを町の活性化に繋げていきたいです。



質問者
井上 莉緒 議員

町の地球温暖化対策は

地球温暖化対策 実行計画を策定

— 町長

問

世界的問題である地球温暖化に対して、町の対策は

町長

当町では、六戸町地球温暖化対策実行計画を策定し、役場庁舎及び町の施設において、役場庁舎の排出量軽減に向けて取り組んでいます。この取り組みを継続し、温室効果ガスの排出量軽減に努めていきたいと考えています。

問

町のバスなどの公用車を電気自動車に転換していく考えはないか

町長

現在、町公用車の電気自動車保有状況は、乗用車1台です。公用車の電気自動車への転換は、航続距離、価格の課題もあり、一斉更新の

予定は、今のところありません。今後、蓄電池の技術や価格の推移を見ながら、更新を検討していきたいです。



世界の問題に向き合い、抱えきれない大きな問題からも目を背けない町となって欲しいと思います。



質問者
かしわぎ はるのり
柏崎 晴紀 議員

児童館も新設を

既存の児童館で対応

— 町長

問 新設される義務教育学校での放課後や、休日に友達同士が遊べるように学校の近くに新たな児童館を建設する考えは

町長 令和7年の開校時には、現在使用している六戸児童館と七百児童館、大曲小学校の学童保育所をそのまま使用することを考えています。子どもの放課後の居場所が必要なものと認識していますので、将来においては、よりよい環境の中で子ども達が憩える場所を整備していくことが極めて重要なものと捉えており、私も自治体の大切な役目と考えています。



今のままでは、離れた場所の友達と遊ぶ場所がなく、子ども達がオンラインゲームばかりになる可能性があると思います。質問しました。



質問者
なかむら らいぜん
中村 徠禪 議員

シャモロックの6次産業化を

財政状況を考えて検討

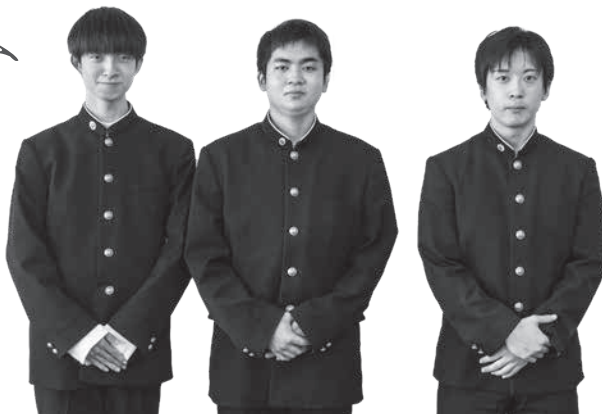
— 町長

問 町内のシャモロックの飼育羽数を増やす取り組みと、生産、加工、販売まで行う6次産業化の可能性は。また、6次産業化に対して町で補助を行ってみては

町長 シャモロックの雛は県内の指定業者のみの生産、飼育になります。当町には雛を生産するための施設がないため、飼育羽数を大幅に増やすことは困難だと考えています。

また、6次産業化する場合、現状の規模で新規の加工施設、飼育施設を建設する等、土地、施設等に数10億円以上かかる想定され、6次産業化するのは現状で難しいと考えています。6

次産業化に対して町として補助を行うことは、6次産業化の規模にもよりますが、財政状況を考慮し検討していきたいと思えます。



町の特産品のシャモロックをもっと発展させたいという願いを込めて質問しました。

模擬議会までの準備で改めて六戸町のことを知った。少しでも六戸町が良い町になるように取り組んできました。前向きな回答が多かったため、町に人が訪れる環境になるのではないのかなと思いました。(奈良桃歌)



質問者
いしはら まい 議員
石原 麻衣

集いの場として カフェを設置しては

現状では難しい

—まちづくり推進課長

問 若い人々が増えるためには、若い夫婦や若い女性が住みやすい町をつくることで、町の活性化につながると思います。現在、町内に女性や若者が集い、くつろげるカフェとして利用できる公共施設はありますか

まちづくり推進課長

町内に、カフェとして利用できる公共施設は、道の駅ろくへの飲食スペースや六戸町地域包括支援センター内で開催している認知症カフェ、まちカフェメイプルがありますが、それ以外はございません。

問 ゼロからカフェをつくることは難しいため、リフォーム費用やカ

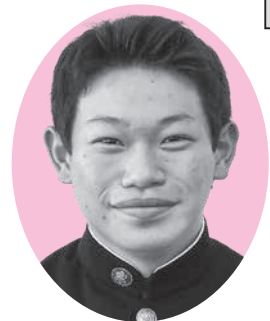
フェ経営をするNPO法人設立の支援はできないか

まちづくり推進課長

カフェにリフォームするための費用の補助は、現在利用できる公共施設がないため、補助は考えておりません。カフェの立ち上げ支援については、地方自治体としてカフェ経営そのものをサポートすることは難しいです。



人と人が話し合える。そして、子ども達が遊べる場所を作って欲しいと思います。



質問者
あおい 議員
とよかわ 豊川 碧生

農業後継者を増やす 対策は

補助金制度を継続—町長

問 後継者や新規就農者を増やすため、児童生徒に対する農業体験や、農業の魅力についてのPRを実施する考えは

町長

当町では園児たちに、畑での種まき、苗植え、収穫体験を実施しています。また、小中学校でも、校内敷地近くの畑を利用し、農業体験を行っています。

PRについては、新規就農者に対する補助金制度のパフレットを農政課前に設置し、町ホームページにも掲載しています。これらの事業等を今後継続していきたいです。

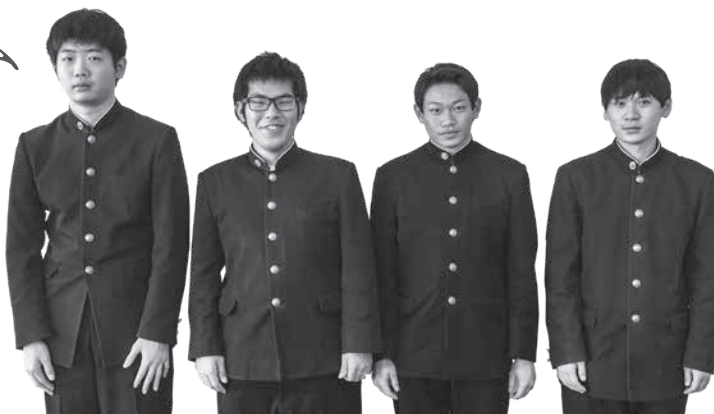
問 お試し就農制度として、空き家等を利用し、短期間の田舎暮らし、就農体験を実施出来ないか

町長

当町では就農体験ができる場所が1軒ありますが、コロナ禍により今は休業しています。

その他の質問

耕作放棄地を整備し、新規就農者に貸し出すための制度をつくれませんか



農業後継者や新規就農者を増やすため、様々な方法で農業をやってみたい人を増やすための学べる環境作りをしてもらいたいです。



質問者
きむら しりゅう
木村 子竜 議員

学校給食費を
無償化してみても

給食導入の経緯から

難しいー町長

問 給食費無償化は、家庭の経済的負担を減らすことができると思う

が、無償化する考えは

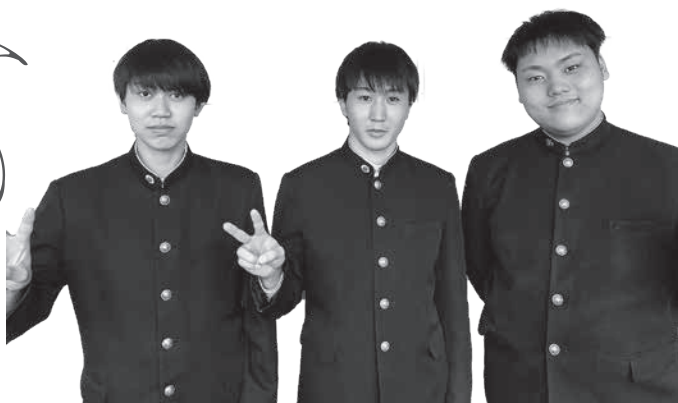
町長 当町の学校給食は、十和田市と連携して広域事務組合という

形で実施しているため、六戸町だけで決定できることではないことと、給食については受益者負担であるとの考えから、今のところ無償化する予定はありません。

問 学校給食費を無償化した場合に
必要な年間の予算はいくらか

町長 無償化した場合の年間経費は令和4年度の数値で、年間51

65万5100円の見込みです。



給食費無償化によってどのくらい多くの人が助かるか、事務担当者がどのくらい楽になるのかを訴えました。



質問者
へらい かい
戸來 海 議員

※ゼロカーボンシティ
宣言をしては

実施に向けて検討ー町長

問 六戸町として、ゼロカーボンシティ宣言をする考えは

町長 ゼロカーボンシティ宣言については、町民の皆様と地球温暖化対策をともに考える機会と捉えて、

内容や方法も含め実施に向けた検討を進めていきたいと考えています。

※ゼロカーボンシティ宣言…

環境省により、「2050年に」酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体を「ゼロカーボンシティ」と定義しています。

問 地球温暖化対策として、新設される義務教育学校に太陽光パネルと蓄電池を設置する考えは

町長 補助事業を受けるための条件等のハードルが非常に高く、今回は設置するに至っておりません。今後、地球温暖化政策の動向やエネルギー情勢の変化、また町有地の活用等も考慮しながら町の課題として調査検討をしたいと考えています。



環境問題に関心の高い優しい町としてイメージアップを図ることで、若い人たちが暮らしてくれるようになると思いい質問しました。



質問者
さとう りふあ 議員
佐藤 璃華

男女共同参画社会の 考えは

計画を策定し推進
— 町長

問 女性の活躍は、個性と多様性を尊重する社会実現のため重要と考えます。女性が安心して暮らしている町づくりのため、男女共同参画社会に関する町の考えは

町長 町では男女がともに社会のあらゆる分野の活動に対等な立場で参画し、個性や能力を十分発揮できる社会の形成に向け、意識改革や社会環境整備の推進が必要と考えています。現在、六戸町男女共同参画推進計画や六戸町特定事業主行動計画を策定し、必要な取り組みを推進しています。

問 六戸町男女共同参画推進計画に、具体的な目標数値及び達成期日が

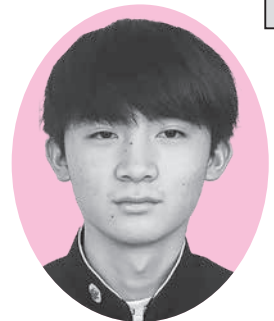
記されていない理由は

町長

具体的な数値目標に関しては、令和3年4月に更新した六戸町特定事業主行動計画で定めています。



六戸町の老若男女が共に活躍し、住みやすい町となるようお願いしました。



質問者
したみち ぎんじ 議員
下道 銀士

館野公園の整備、 利活用は

公園利用者の
ニーズを注視
— 町長

問 館野公園をさらに多くの方に利用してもらうために、館野公園内に無料のドッグランを作っては

町長 現在、新しい施設を作る整備計画はなく、ドッグラン施設の設置予定はございません。

問 キャンパーが気持ちよく利用できるように、館野公園内のキャンプ場のトイレを洋式化しては

町長 今後、長寿命化計画の見直しで改修事業の対象となる場合には、水洗化を含め、洋式化を検討したいと思います。

問 さつき沼周辺の遊歩道がぬかるんでいる。補修をしては

町長 長寿命化計画に基づく改修事業において、さつき沼の木製橋て遊歩道の路面補修を行い、整備していきたいと思います。



魅力ある館野公園をもっと使いやすくし、町内外の人に館野公園の魅力をもっと発信して欲しいと思います。



質問者
とま べ ち み ゆ
苫米地 美優 議員

オンデマンドバスを 導入しては

需要が高まれば検討

— 町長

問

町内に住む交通手段の少ない外国人のために、オンデマンドバスを導入しては

町長

オンデマンドバスは、利用する方からすると、非常に便利なものだと思います。現段階では導入は考えておりませんが、今後、需要が増すようであれば、オンデマンドバスを車両交通手段として、検討したいと思っています。

問

外国人と町の人が交流できるイベントや場所を作れないか

まちづくり推進課長

当町に住む一般の外国人の方々と地域住民が交流できる公的な場所は、現在

のところございません。今後、町観光協会や各イベント実行委員会の方々にもご協力いただき、どうすれば交流が進むのか検討していきたいと思えます。



バスの本数が少ないので、オンデマンドバスを導入し、外国人や町民がもっとよりの生活を送れるよう支援して欲しいと思質問しました。



質問者
あり ま や ま と
有馬 大和 議員

若い世代の人口流出を 防ぐには

魅力ある企業の町内誘致に努める — まちづくり推進課長

問

人口減少を防ぐため、若い世代の人口流出抑制と若者のUターンを増加させるための施策は

まちづくり推進課長

特に高等学校卒業生の方々に対する施策として、当町も参加する三沢地区雇用対策協議会において、県内就職を希望する高校生に対して、地元企業からの求人募集を県外企業よりも早期に行う活動を続けています。

問

若い世代が六戸町に戻ってきたら、いと思える環境づくりのために、起業資金助成制度と就業助成補助の制度を作ってみては

現在は町独自の起業資金助成制度はありません。今後の町の独自の新たな就業補助制度の設立に関しては、有効性と必要性を十分に検討しつつ考えていきたいと思えます。



若い世代の人口流出が抑制され、若者の人口が増え、就職場所が増えて町がもっと発展して欲しいと思質問しました。

実際に質問を考えることの難しさを感じました。また、町だけでは解決できない問題もあったので驚きました。この模擬議会が、今後の六戸町の活性化につながっていけば良いなと思えました。(角鹿未空)



キラリ
六戸人

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、全国高校野球
選手権大会に青森県代
表として出場した織笠
陽多さんです。

織笠 陽多さん

■プロフィール：小松ヶ丘地区出身。大曲小学校3年生の時に大曲ベアーズへ所属。中学時代は三沢リトルシニアに在籍。七百中学校卒業後、八戸学院光星高等学校へ進学。令和4年7月の夏季青森県高校野球大会の決勝戦では、先制打とソロ本塁打を放ち、夏の甲子園へ出場。2004年生まれ。18歳。父、母、姉の4人家族。



大曲ベアーズ

野球を始めたのは、小学校3年生の時に友だちとスポーツ少年団の大曲ベアーズに入ったのがきっかけです。当時は、友だちとサッカー部に入ろうと話していましたが、自分の父親が野球好きで、「サッカーはだめだ。やるなら野球だ」と勧められて野球を始めました。それまで、野球に興味はなかったんです。でも、やってみたら楽しくて。野球の楽しさを知れたのは、父親と大曲ベアーズのお陰ですね。

自分の力を試したい

高校は八戸学院光星高等学校（以下、光星と称す。）の野球部から声を掛けてもらい進学しました。光星のレベルに自分が付いていけるか不安もありましたが、中学3年生の時にバッティングが良くなったので、自分の

バッティングがどこまで通用するか試したいと思いを進学を決めました。

光星へ進学後、腰を悪くした時期もありましたが、通院しながら練習は休まず続けました。離脱したらずぐに自分の代わりがいるので、絶対に負けたくないという気持ちで頑張りました。

甲子園

夏季青森県高校野球大会では準決勝、決勝と試合がすべて1点差で最後まで苦しかったです。甲子園に行けることが決まった瞬間も実感が湧かなくて、甲子園球場に入場行進の練習で入った時に、やっとこの場まで来たんだと実感し、感動しました。甲子園2回戦の愛工大名電との試合の時は、初戦の時よりも球場内の大観衆や大歓声が凄く、圧倒されました。結果は延長で負けてしまいました。甲子園は本当にいい経験となりました。

将来は

小学生の時に甲子園球場に行く機会があり、その時に「自分もいつかこの球場で野球の試合がしたい」と思っていて、小学生の時から今まで野球に打ち込んできました。なにか1つ目標をもって、それに向かって頑張っていたら、夢は叶うんじゃないかなと思います。春からは、八戸学院大

学に進学して野球を続けます。将来は野球選手か野球の指導者など、野球に携わる仕事に就きたいと思っています。

（聞き手 川村重光
長根一男）



甲子園1回戦 創志学園(岡山)との一コマ

編集後記

明けましておめでとうございませう。

私たち、議員の任期も3か月を切りました。

昨年度を振り返りますと、八月の大雨で、町道法面の崩落や、農地への浸水により、六戸の主力野菜、長芋、ゴボウに多大な被害が発生しました。被害にあわれた、農家の方々にお見舞い申し上げます。また、コロナ禍の影響で、町の行事が中止や縮小されての開催となり、町民の声をあまり聞く事が出来ませんでした。その中で、「議会だより」に、町の施策に対して、町民の意見を載せることが出来て、大変良かったと思います。これからも、議会広報委員会に町民みなさんの声を届けてくださるよう、お願いいたします。

広報委員 長根一男

議会広報委員会

委員長 盛田嘉彦
副委員長 松橋一男
委員 川村重光
杉山茂夫
長根一男
種市正孝

発行責任者

議長 川村重光